

## 歴史と表象

### 文学・映画に描かれたオーストラリア先住民

オーストラリアの入植開始以来、先住民とヨーロッパから到来した人々の関係にはさまざまな局面がありました。また、その解釈や各種の言説・メディアにおける描かれた方も時代とともに移り変わってきました。今回の企画では、コロニアル状況が生みだした境界的存在である先住民トラッカーに焦点をあて、ご講演いただきます。

*Tracker*—ヨーロッパ人に協力して、道先案内や逃亡者らの追跡を請け負った先住民

日時： 2017年3月6日（月） 15:00-17:00

場所： 立命館大学衣笠キャンパス 敬学館 232 教室

#### 研究発表 15:00-15:40

「オーストラリア文学に見るフロンティア・ヴァイオレンス」

“Frontier Violence in Australian Literature”

佐藤 渉（立命館大学）

#### 講演 15:50-17:00

「ブラックトラッカー：運命の桎梏」

“Blacktracker: the Shackles of Doom”

中尾秀博（中央大学）

終了後に懇親会を予定しております。

#### 講師紹介

中央大学文学部教授。専門は英語圏文学・地域研究。2009年から10年にかけてメルボルン大学オーストラリア研究所客員研究員、先住民の映像表象を研究。論文に“*Ambiguous Gazes: an Indigenous Portrait Triptych of 1912*”（『中央大学社会科学研究所年報』18号、2014）、“*J. M. Coetzee, Photography and Australia*”（『英語英米文学』50号、2010）など。



お問い合わせ：立命館大学 佐藤渉 email:

wsato@law.ritsumeimei.ac.jp